

安心と希望がゆきわたる京都市政の実現へ!!



平成30年度
 予算編成に対する
 要望書を提出

公明党京都市会議員団は平成29年11月24日に京都市予算編成にあたり、重点58項目を含む218項目の要望書を門川大作市長に提出しました。

公明党は人口減少社会の中にあつて、「教育負担の軽減へ」を掲げ、将来を見据えた、子どもの教育環境の充実に努めるとともに「全世代型社会保障」の構築に向けた取り組みの充実と近年、多発する災害に対し京都市においても対策の強化を求めるなど、安心と希望がゆきわたる京都市政の実現を目指し、具体的な政策提案を行いました。

重点項目については①地震対策にあわせ、毎年多発する水災害対策の強化など、災害に強いまちづくりの推進。②京都経済の活性化と更なる雇用の創出。③高齢者福祉の充実や子育て世代に対する更なる支援。④子どもの貧困対策の強化と学校教育の充実。⑤文化庁移転に伴う京都の活性化と文化行政の新たな推進。⑥市バス・地下鉄の更なる増客と利便性の向上。など京都市の活性化と市民生活向上に重点を置いています。

門川市長は「公明党議員団の提案については、現場の声を反映し、具体的なものとなつていきます。今回の要望を最大限に予算編成に活かしていきたい。」と決意を表明されました。



平成30年度・京都市予算編成に対する要望(要旨)

1 防災危機管理・安心安全

- ・地震対策と近年多発する大雨洪水被害を踏まえた防災対策の強化。
- ・救急搬送の増加に伴い、市民が相談できる「救急安心センター事業(#7119)」の導入。

2 行政運営・財政改革

- ・地方創生を実現するため京都創生総合戦略に基づいた施策の着実な推進。
- ・文化庁の全面移転に向けたオール京都での受け入れ体制の強化と新たな文化行政の推進。

3 産業・観光

- ・京都経済の活性化と正規雇用創出のため、専門性の高い人材の育成の強化・充実。
- ・東京オリンピック・パラリンピックを好機ととらえた京都観光振興策の多角的な推進。



4 環境・エネルギー

- ・「しまつのころ条例」と「ごみ半減プラン」の趣旨を踏まえ、着実なごみ減量の推進。
- ・食品ロス削減目標達成に向け、食べ残しゼロの全庁的展開。



5 文化芸術・市民生活

- ・文化庁の京都全面移転決定を受けた文化芸術の振興と京都文化の奥深い魅力の世界への発信。
- ・自転車の安全対策と保険加入義務化への取り組みの充実。

6 福祉・子育て・教育

- ・子どもや若者に関わる地域団体やNPO、ボランティア等と連携した「子どもの貧困対策」の推進。
- ・児童虐待対策について各種団体との連携強化を図り、未然防止、早期発見などの具体的施策の推進強化。
- ・認知症対策での早期診断と患者・家族への支援などの取り組み強化。

- ・障がい者「24時間相談体制構築支援事業」の全市への拡大。
- ・違法民泊の根絶と、民泊事業については地域と調和したものとなる取り組みの充実。



7 まちづくり

- ・空き家対策の実効性ある取り組みの強化。
- ・防災・減災の視点に立った社会インフラの整備と維持管理。



8 交通・水道

- ・平成31年度までの「地下鉄・市バスお客様1日80万人」の新目標の達成。
- ・市民生活の安心・安全に直結する上下水道の老朽配水管の着実な更新。

お知らせ

**2月議会が開会
 (2月16日～3月20日)**

本会議の代表質疑は2月22日、23日に行われ、公明党からは、湯浅光彦議員(右京区)、かわしま優子議員(伏見区)、西山信昌議員(下京区)が2月23日に登壇します。KBS京都テレビでも生放送の予定です。

ひとりに寄り添う
市政を目指して!

代表質問

京都市会本会議の代表質問で公明党京都市議員団は市民生活の向上のため、京都市政について質問と提言を行いました。
平成29年9月議会では曾我修議員(伏見区)、平山よしかず議員(西京区)、ひおき文章議員(北区)、が11月議会では青野仁志議員(中京区)、国本友利議員(左京区)が質問に立ちました。



京都市の交通状況



そが
曾我
おさむ
修議員「伏見区」

自動運転技術の活用について

曾我修議員は急速に発達する車の自動運転技術について触れ、生活交通と

成年後見制度の利用促進について

高齢化の進展に伴い、認知症高齢者の増加を踏まえ、成年後見制度の利

観光客による混雑など、京都特有の課題の解消に向けた取り組みが重要と指摘。副市長は自動運転技術や人工知能などの活用について本格的な検討を進め、自動運転の実用化に向け、年度内にイベントやシンポジウムを開催すると表明しました。

教職員の働き方改革について

教職員が働きやすく、子どもたちと向きあえる職場づくりの重要性に触れ、その取り組み状況について質問。教育長は自宅から校務支援システムが利用できる「リモートワークス機能」の導入など事務の効率化や、事務負担を軽減する教務主任補佐の拡充、部活動指導員制度の導入などを検討すると表明しました。

用促進を図るため、京都市として利用促進計画の策定を提案。これに対し門川市長は、幅広い関係団体等の意見を十分に活かし、計画を作成し、計画に基づく取り組みを着実に実行することで、成年後見制度利用促進に一層努めると答えました。

- 曾我 修議員のおもな質問項目
- 平成28年度決算について(要望)
 - 自動運転技術について
 - 成年後見制度について
 - 教職員の働き方改革について
 - 住宅セーフティネット制度について
 - #7119について



ひらやま
平山よしかず
議員「西京区」

ごみ減量の取り組みについて

平山よしかず議員は京都市のごみ受入量はピーク時より半減している現状に触れ、次世代のため、ごみ減量の目標達成に向け、市民とともに雑がみの分別・回収を強力に進めることを要望。市長は雑がみの分別・リサイクルの強化が重要とし、市民との協働でごみ減量を促進

都市公園の再整備に民間活力の利用について

京都市の厳しい財政状況の下、民間事業者が都市公園の再整備・維持管理を行う新たな制度「パークPFI」を活用し、西京区・洛西ニュータウンの都市公園の再整備を求めました。副市長はパークPFIの導入について検討を進めると述べました。

新生児の難聴検査について

難聴はコミュニケーション不足を引き起こし、子どもの健やかな成長を妨げることを紹介し、すべての新生児が聴覚検査を受け、西京区の公園整備についても地域の意見を踏まえ、再整備に努めると答弁しました。



乳幼児健診の様子

平山よしかず議員のおもな質問項目

- ごみ減量の取り組みについて
- 介護ケアの充実について
- 都市公園整備に係る民間活力の利用について
- 新生児の難聴検査について



ひおき
文章
議員「北区」

世界文化自由都市宣言について

ひおき文章議員は京都市の世界に誇る「世界文化自由都市宣言」が平成30年10月に40周年となることに触れ、宣揚する取り組みを推進すべきと主張。門川市長は宣言の40周年に際し、シンポジウムや文化事業、功績のあった方の表彰等を通じ、今一度「宣言」の意義を市民ぐるみで共有していくと答えま

市バス・地下鉄事業における今後の取り組みについて

次に市バス・地下鉄事業の次期経営ビジョンの中で、設備更新や安全対策が課題であると言及しました。市長は多額の費用を要する車両・設備の更新や可動式ホーム柵の全駅設置等の安全対策について、可能な限り長寿命化や事業費の平準化に努

食品ロス削減の取り組みについて

京都市の食品ロス削減の先進的な取り組みを評価した上で、今後の更なる取り組みを求めました。



廃棄された食品

ひおき文章議員のおもな質問項目

- 世界文化自由都市宣言について
- 区政の在り方について
- 市バス・地下鉄事業における今後の取り組みについて
- 食品ロス削減の取り組みについて

の新生児が聴覚検査を受診する体制づくりを要望。副市長は新たな難聴検査のためのリーフレット作成や、すべての子どもの聴覚障害の早期発見・早期療育に向けた啓発・情報発信に取り組むと表明しました。



あおの ひとし
青野 仁志 議員「中京区」

伝統産業の活性化について

青野仁志議員は京都市の観光消費額が過去最高を更新するなど好調に推移し、京都の伝統産業へ注目が集まる中、伝統産業



京都の伝統産品

活性化に向けての今後の展開について質問。門川市長は新たな市場開拓を目指す意欲的な事業者・団体を積極的に支援し成功事例を業界全体に波及させ、活性化に取り組むと答弁しました。

介護予防及び認知症対策について

地域包括ケアシステム構築に向け、身体が衰えるフレイルや、噛む・食べる力が弱まるオーラルフレイル対策と認知症の初期対応について要望。市長はフレイル、オーラルフレイル対策を「健康長寿笑顔のまち・京都推進プラン(仮称)」に位置づけ、認知症対策として初期集中支援チームを全市域に拡充すると表明しました。

オリンピック・パラリンピック教育について

教育先進都市京都として、オリンピック・パラリンピック教育の意義や狙いと、現在の取り組み成果

の市全体への今後の展開について質問。教育長は子どもたちがスポーツの価値や国際的な視野で世界平和へ貢献する大切さを学び、国際社会や地域活動に積極的に参画できるように取り組みを進めると答えました。

青野仁志議員のおもな質問項目

- 伝統産業の活性化について
- 介護予防及び認知症対策について
- オリンピック・パラリンピック教育について
- 二条城南側エリアの活性化について(要望)



くにもと ともと
国本 友利 議員「左京区」

大規模災害時における受援体制について

国本友利議員は平成28年4月に発生した熊本地震において、国、他都市などからの応援職員の受け入れ体制が整備されず、被災者支援に混乱が生じたことを踏まえ、京都市でも受援体制整備を求めました。これに対し、門川市長は平成30年度中に受援体制の整備に取り組むと表明しました。

文化芸術による社会包摂の取り組みについて

文化庁の京都移転を踏まえ、文化芸術の力で社会的困難を抱えた方に寄り添う取り組みの重要性を強調し、文化芸術による社会包摂の取り組みを行うべきと要望。市長は文化首都京都ならではの文化芸術を通じた社会包摂の取り組みを行うとともに、それをコーディネートする人材育成にも取り組むと答えました。

プログラミング教育におけるアクティブラーニングについて

平成32年から小学校でプログラミング教育が必修化されることを受け、主体的・対話的に進めるア

クティブラーニングを取

り入れた学習内容が有効と提案しました。これに対し、教育長はプログラミング教育についてアクティブラーニングの手法は有効としつつ、本格実施に向け準備を進めていくと答弁しました。



エストニアのプログラミング教育

国本友利議員のおもな質問項目

- 大規模災害時における受援体制について
- 文化芸術による社会包摂の取り組みについて
- プログラミング教育におけるアクティブラーニングについて

京都市トピックス!!

1 子ども食堂などの「子どもの居場所づくり」を強力にサポート

平成29年度において、民間団体が取り組む子ども食堂をはじめとする「子どもの居場所づくり」に対して、補助金の創設や運営に係るアドバイザー派遣を行う事業が開始されました。



2 胃がん検診の充実・拡充

平成29年度から今までレントゲン検診のみであった胃がん検診に加え、内視鏡(胃カメラ)検査が導入されました。また、胃がんリスク層別化検診として、簡単な血液検査によるピロリ菌の感染と胃粘膜の状態を調べ、リスク判定ができる検診が導入されました。



3 就学援助制度の「新入学学用品費」の入学前支給の実現

経済的な理由によりお困りのご家庭に対し、就学援助制度として支給される新入学学用品費はこれまで4月以降でしたが、平成30年4月入学の新入生から入学前に支給されることとなりました。



4 ものづくりベンチャー企業支援拠点「京都メイカースガレージ」を9月に開設

国内外の資金力のない企業や個人の起業家のアイデアを、生産技術を持つ京都のものづくり企業と繋ぎ、試作品作りから量産化へと結びつけ、成長が見込まれれば地元ファンドの投資も行います。京都のものづくり産業の活性化に繋がる画期的な仕組みと期待が高まっています。



持続可能な開発目標(SDGs)を 主要テーマに他都市調査を実施!

平成29年11月15日と16日の2日間、公明党京都市議員団11名は、岡山市、北九州市、長崎市において現地調査・視察を行いました。岡山市では「ESD(持続可能な開発のための教育)」について、北九州市では「北九州市環境モデル都市行動計画」について、長崎市では



長崎さるくの様様

「長崎さるく」についてそれぞれ先進事例を学びました。

この調査研究を市政へ活かせるよう努力して参ります。



北九州市役所にて

「観光政策の充実に関する要望書」を 石井国土交通大臣に提出!

平成29年8月に実施した五大市政研究会(京都市・横浜市・名古屋市・大阪市・神戸市)で各都市の観光政策について議論を行い、京都市の観光政策についても視察を行いました。その上で国に対する要望書を取りまとめ、平成29年12月15日に石井国土交通大臣に提出しました。

京都市では平成28年の観光による経済波及効果が1兆1,772億円に上り、雇用効果も13万人を超えるなど大きな効果が出ています。

観光政策の充実が市民生活に好影響をもたらすよう取り組みを進めてまいります。



石井大臣への要望書提出



二条城視察の様子

公明党京都市議員団 の顔ぶれ

①期数 ②委員会



北区

ひおき 文章

①7期
②産業交通水道委員会

TEL: 075-723-3967



左京区

くにもと ともとし
国本 友利

①2期
②総務消防委員会

TEL: 080-9804-7802



中京区

あおの ひとし
青野 仁志

①2期
②産業交通水道委員会

TEL: 090-8369-9953



山科区

くぼ かつのぶ
久保 勝信

①4期
②産業交通水道委員会

TEL: 075-591-0077



下京区

にしやま のぶまさ
西山 信昌

①1期
②教育福祉委員会

TEL: 075-746-2725



南区

だいどう よしとも
大道 義知

①7期
②文化環境委員会

TEL: 075-921-3172



右京区

ゆあさ みつひこ
湯浅 光彦

①4期
②総務消防委員会

TEL: 075-873-2501



西京区

ひらやま よしかず
平山 よしかず

①3期
②文化環境委員会

TEL: 075-393-8806



伏見区

そが おさむ
曾我 修

①4期
②まちづくり委員会

TEL: 090-8934-4643



伏見区

よしだ たかお
吉田 孝雄

①3期
②教育福祉委員会

TEL: 080-9804-7801



伏見区

かわしま ゆうこ
かわしま 優子

①1期
②まちづくり委員会

TEL: 075-634-7178



京都いつでもコール 市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

● TEL: 075(661)3755 ● FAX: 075(661)5855

● 電子メール(以下のホームページから)

パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから
携帯電話でアクセスでき
ます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市議員団にお寄せください

● TEL: 075(222)3732

● FAX: 075(212)3608

● 電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp

● ホームページ: [公明党京都市会](#)

